

2007 年オータム・マッチ in 南伊勢

Autumn Match in Minami-Ise 2007

ISAF イベント・グレーディング 4 JYMA イベント・グレード係数 1.5

ISAF Grade 4 JYMA Event Grade Coefficient 1.5

帆走指示書(Ver.1.0)

Sailing Instructions

略称

NA: ナショナル・オーソリティ(日本の場合は JSAF)

NoR: ノーティス・オブ・レース(レース公示)

OA: オーガナイズング・オーソリティ(大会主催者)

PC: プロテスト・コミッティ(プロテスト委員会)

RC: レース・コミッティ(レース委員会)

RRS: レーシング・ルールズ・オブ・セーリング(セーリング競技規則)

SI: 帆走指示書

1. ルール(規則)

1.1 本大会には以下のルールを適用する。

(a) RRS2005-2008 に規定されたルール。付則 C を含む。

(b) ハンドリング・ボーツ(SI アペンディックス C)。これは練習中にも適用される。クラスルールは適用しない。

NoR との間に矛盾が生じた場合は、本 SI を優先する。

1.2 RRS C8.6 として以下を追加する。「そのマッチのアンパイアと他のアンパイアの最低 1 名が、艇が RRS14 に違反し、損傷を伴ったと判定した場合、審問なしで 0.5 点のペナルティを課することができる。この場合ペナルティを課せられた競技者には、可能な限り早くそのことが通知され、審問を要求することができる。その場合審問は RRS C6.6 に従って進められ、PC により決定されるペナルティは 0.5 点を超えることがある。アンパイアは、0.5 点を超えるペナルティが適切であろうと判断した場合、RRS C8.4 に従って処理しなければならない。このペナルティはラウンドロビン・ステージでは違反者の減点、ノックアウト・ステージでは違反者の相手方への加点として扱う。」

1.3 それぞれの艇は、1 名のアンパイアを乗艇させてレースをしなければならない。

1.3.1 アンパイアは以下の要領によってレース艇に同乗する。

(a) 原則としてアンパイアの乗艇位置はコクピット内スターン寄りとする。乗艇姿勢は問わない。

(b) 乗艇位置付近にアンパイアの体重に応じたおもりを固縛することにより、各艇のアンパイアの体重差を調整する。これは SI アペンディックス C1 に基づく処置である。

(c) アンパイアの乗艇位置および姿勢はアンパイアの安全・安定が優先され、アンパイアの乗艇位置およびその存在は救済の要求の対象とはならない。(RRS62 の変更)

1.3.2 アンパイアのジャッジングは以下の要領による。(RRS C5 の変更)

(a) レース艇から出された抗議に対するジャッジング。

① 関係する艇に乗艇するアンパイアがそれぞれジャッジし、判定の旗を示す。音響信号はいずれか一方、もしくは両方のアンパイアから発せられる。

② アンパイアの示した旗が不一致の場合は「ペナルティを課さない」ことを意味する。(一方がペナルティを示す識別旗、他方がノー・ペナルティを示す旗を示した場合、あるいは一方が青の識別旗、他方が黄の識別旗を示した場合など。)

③ アンパイアの示した旗が一致した場合は、その裁定どおりとする。(ともにペナルティを示す同じ識別旗を示した場合はその色で示された艇はペナルティを負う。ともにノー・ペナルティを示す旗を示した場合はいずれの艇にもペナルティを課さない。)

④ ③でペナルティが確定した後、速やかにいずれか一方のアンパイアにより赤旗が示された場合、ペナルティが課された艇には RRS C7.3(d)が適用される。

(b) (a)以外のアンパイアが発議するペナルティは、一人のアンパイアが発議によって確定する。

(c) ペナルティを持った艇のアンパイアは、ペナルティのある間それを示す帽子を着用する。この措置が実行



されたか否かは救済の要求の対象にはならない。(RRS62 の変更)

- (d) 2 個目のペナルティを課せられた場合、対戦相手のペナルティと相殺されないときは、ペナルティを持った艇のアンパイアは、速やかに 2 個目のペナルティを解消するように(スタート信号前の場合はスタート後速やかに解消するように)口頭でスキッパーに勧告し、解消が実施された場合は音響信号 1 声のみを発する。適当な時期にペナルティが解消されない場合は、音響信号 1 声とともに黒色旗を掲示して RRS C5.4 が適用されたことを示す。(c)は 2 個目のペナルティについては適用されない。

- 1.4 RRS C11.3(a)の最後の文章を以下のものと置き換える。「RC がセイルオフを実施できないと決定した場合、以下のようにしてタイを解く。タイとなった競技者間で、第 1 レースを除外した場合のラウンドロビンで最高得点を獲得した競技者を上位とする。これでタイが解けない場合は第 2 レースも除外したラウンドロビンで最高得点を獲得した競技者を上位とする。以下、順にタイが解けるまでこれを繰り返す。」
- 1.5 RRS C11.1 の最初の文章を以下のように変更する。「ラウンドロビン・シリーズとは、すべての競技者が互いに 1 回以上帆走することが予定されている競技者のグループ分けをいう。」
- 1.6 RRS C3.1 のスタート信号の表を以下に変更する。

時刻(分)	視覚信号	音響信号	意味
6	F 旗掲揚	1 声	注意信号
5	F 旗降下、数字旗掲揚*	1 声	予告信号
4	P 旗掲揚	1 声	準備信号
2	青色旗もしくは黄色旗 または両方の旗の掲揚**	1 声**	スタート前のエントリー タイムの終了
0	予告信号と準備信号降下	1 声	スタート信号

注意: *、** 印の注記は RRS の通りである。

1.7 リタイア

スキッパーが RC にリタイアを通告し、レース海面に来ないかレース海面を離れたことが明らかな場合、RC はアンパイアと協議の上、そのスキッパーの得点を 0 点、対戦相手の得点を 1 点として、ペアリング・リストを変更することができる。本項は RRS C8.5 を変更している。

2. 参加申込と参加資格

- 2.1 (スキッパー)本大会には OA によって招待されたスキッパーのみが参加できる。招待の基準は NoR の通りである。参加を承認されたスキッパーは、SI のアペンディックス A に示される。
- 2.2 (クルー)クルーは本大会 NoR の参加資格を満たし、前項で参加を承認されたスキッパーが、参加受付時に提出したクルーリストに記載された者でなければならない。
- 2.3 原則として各スキッパーは乗艇した艇体とそのセール、艀装その他備品のダメージや損失について責任がある。ただし、NoR 18 項および SI 16 項に規定されている事項についてはそれに従う。
- 2.4 マッチの予告信号後、登録されたスキッパーは、緊急の場合を除き、舵を離してはならない。
- 2.5 登録されたスキッパーが大会を続行することができない場合、OA はそのスキッパーによって登録されたオリジナル・クルーを代役として認めることができる。
- 2.6 登録されたクルーが大会を続行することができない場合、OA は交代クルー、一時的な交代、その他の調整方法を認めることができる。

3. 競技者との連絡

- 3.1 競技者への通告は、レース本部付近に設置された公式掲示板に掲示される。
- 3.2 削除
- 3.3 スキッパーは、OA によって許された場合を除き、第 1 レース日 09:00 よりレース本部で行われる最初の艇長会議に参加しなければならない。



- 3.4 アンパイアとの最初のミーティングは、3.3 の最初の艇長会議に引き続いて行われる。
- 3.5 以後の艇長会議、アンパイア & スキッパー・ブリーフィングは、NoR 4 の予定スケジュールによる。その変更があった場合は公式掲示板に掲示する。

4. SI の変更

- 4.1 陸上で行われる SI の変更は、影響を及ぼすレースのスタート時刻の最低 1 時間前に公式掲示板に掲示される。それ以後に陸上でなされた変更は、公式掲示板に掲示するとともに各スキッパーに口頭で通知される。
- 4.2 海上で行われる変更は、音響信号 3 声とともに第 3 代表旗を掲揚することによって信号が発せられる。アンパイアは、口頭か書面のいずれかでこのことを伝達することができる。

5. ボートとセール

- 5.1
 - (a) 本大会は志摩ヨットハーバーが管理する J/24 クラスにて行われる。
 - (b) 使用すべきセールは RC により割り当てられる。
 - (c) 5.2、5.3 項および本項(d)が適用される場合を除いて、支給されたセールは自由に組み合わせて使用できる。
 - (d) 競技者は、シリーズ中に、スポンサーの要請を満足するためにセールを交換することを要請されることがある。このことは救済の要求の対象とはならない。これは RRS62 の変更である。
- 5.2 使用すべきセールの組み合わせは、注意信号の 1 分以上前に、RC ボートから連続音響信号とともに信号が発せられる。信号は次のことを意味するものとする。

信号	使用すべきセールの組み合わせ
赤色旗	そのフライトのすべてのマッチ競技者はスピネーカーを用いてはならない。スピンプールの使用は妨げない。

- 5.3 その他の制限または指示は、艇に対してアンパイアから口頭でなされることがある。この場合、第 3 代表旗は必要としない。

6. 艇と識別の割り当て

- 6.1 艇は、各艇に記載されたボートナンバーにより識別される。
- 6.2 メインセールには、OA により提供された文字帯を表示することを求められることがある。
- 6.3 艇は原則としてステージごとに抽選により各スキッパーに割り当てられる。再抽選は RC の指示によって行われる。この抽選の結果は救済の要求の対象とはならない(RRS62 の変更)。
- 6.4 6.3 が適用された後、艇はペアリング・リストに従って交換される。

7. クルー・メンバー、人数と体重

- 7.1 1 チームの最大乗員体重は 340kg である。
- 7.2 体重測定は、所定の計測期間に、少なくともショーツ(パンツ)とシャツを着用した状態で行われる。体重計の表示から機器の誤差として 0.2kg を差し引いた体重を記録し、チームの合計体重を算出する。
- 7.3 1 チームの乗員登録人数(スキッパーを含む)の制限はない。制限体重内であればクルーは交代してもかまわない。ただし、第 2 レース以降の乗員の人数は、第 1 レースに乗艇した人数より多くても少なくともいけなない。クルー交代の際は、事前に RC に口頭でその旨を通知し了承を得なければならない。クルーの交代に要する時間はスタート時間延期の要求の対象とはならない。
- 7.4 乗員のうち、少なくとも 1 名は、旧 5 級小型船舶操縦士または新 2 級小型船舶操縦士(5トン限定)以上の免許を所持しており、海上に出るときは常時携帯しておかななければならない。

8. イベント・フォーマット(大会方式)とスタートのスケジュール

- 8.1 イベント・フォーマットとマッチのペアリング・リストは SI のアペンディックス B に記される。フライトで帆走するマ



ッチは、RC ボートよりスタートする順に示される。

8.2 削除

8.3 レース日は、10月20日から10月21日まで予定されている。

8.4 レース最終日で、注意信号が発令されるもっとも遅い時刻は15:30とする。

8.5 それぞれの日にレースをするマッチの数は、RCが決定する。

8.6 (a)RCは、現在の状況または予定されている残りの時間ではマッチの残りを続けようとするのが実行不可能であると判断した場合、ステージまたは大会を終了することができる。初期のステージは、その後のステージを行うために終了することができる。

(b)RRS C10.3(b)に以下を追加する。

「1回のラウンドロビンが完了する前に終了した場合、または複数のラウンドロビンが最初のラウンドロビンの最中に終了した場合、最高得点はそれぞれの競技者と帆走したマッチにつき平均の得点を得たとして決定されるものとする。ただし、1名またはそれ以上の競技者が予定されたマッチの1/3未満しか完了しない場合を除く。その場合、全体のラウンドロビンが無視されなければならない、必要な場合には大会が無効と宣言される。」

8.7 各日の最初の注意信号発令予定時刻は、10月20日は11:00、10月21日は09:00とする。

8.8 各フライトのスタート手順は、実行可能な限り速やかに前のフライトに引き続いて開始される。これは、前のフライトの最終マッチの艇がフィニッシュすることを必ずしも要しない。

8.9 ラウンドロビン・シリーズで、あるマッチが予定された時刻にスタートできない場合、次のマッチの信号とスタートは元の予定のままとし、スタートしないペアは空白のスタートのままとする。スタートしないマッチの予告信号(数字旗)、準備信号(P旗)は掲揚されず、それに伴う音響信号も発せられない。

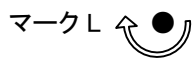
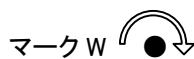
8.10 ノックアウト・シリーズで、あるシリーズの勝者が決定された場合、引き続き行われるスタートは、空白のスタートをなくすために前に持ってくるものとする。競技者には、アンパイアより口頭でそのことを伝える。

9. レース・エリア

レース・エリアは、三重県五ヶ所湾内海域に設定される。

10. コース

10.1 (a)コースの形状(縮尺通りではない)



マーク W と L はスターボードに見て回航。
信号 S の場合およびコース短縮の場合はマーク L を回航せずにフィニッシュ。

ピンエンドマーク ▲ ◆ RC ボート(信号船)
(アウト・リミットマーク) スタート/フィニッシュ・ライン

(b)コース信号と帆走するコース

コース信号は、注意信号と同時にまたはその前に RC ボートのバウから掲揚される。
マーク W と L は、スターボード(右/時計回り)回航しなければならない。

信号	コース
信号なし	スタート-W-L-W-フィニッシュ
S 旗	スタート-W-フィニッシュ



(c)マークの色と形状

マークの色と形状は、最初の艇長会議時に示される。

10.2 スタート/フィニッシュ・ライン

- (a) スタート/フィニッシュ・ラインは、スタート/フィニッシュ・マーク(ピンエンド・マーク)と RC ボート上メインマスの、コースサイドを結んだ直線の間とする。
- (b) RC ボートには、ラインでつないだブイを取り付けることがある。艇は、常にこのブイと RC ボートとの間を通過してはならない。このブイは、RC ボートのグラウンド・テークルの一部である。

10.3 中止と短縮

- (a) RRS32 を削除して、以下の文と置き換える。「RC は、スタート信号後、何らかの理由でマッチの中止またはコースの短縮をする場合、必要な場合はチーフアンパイアと協議した上で、それを実施することができる。」
- (b) (中止)スタート信号後、レースの中止が決定された場合、RC ボートから音響信号 3 声とともに N 旗を掲揚する。数字旗の上に N 旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチのみが中止されるものとする。
- (c) (短縮)スタート信号後、コースを短縮するときは、最初の上マーク付近にいるマークボートから音響信号 2 声とともに S 旗を掲揚する。この場合、各艇は SI 10.1 で S 旗が掲揚された場合と同じコースを帆走しなければならない。数字旗の上に S 旗が掲揚された場合、その数字旗で示されたマッチ以降、同じフライトのすべてのマッチに本項が適用されるものとする。(RRS 「レース信号」の変更)

11. 損傷と修理の時間

- 11.1 フライトの注意信号の前、またはフィニッシュ後の 2 分以内、または新しい艇に乗り替わった後の 5 分以内のいずれか遅い方までに、艇は、艇体やセールの破損または損傷あるいは乗員の負傷を知らせる損傷旗(ピンク旗)を掲げ、次のスタートを遅らせるように求めることができる。その艇は、最寄りの RC ボートもしくはアンパイアに状況を告げ、できるだけ早く RC ボートの風下に近づけて進み、そこにとどまらなければならない。ただし、別の指示がある場合を除く。
- 11.2 修理に許される時間は、RC の裁量とする。
- 11.3 フライトの注意信号発令後は、破損のためにマッチを延期または中止しない。ただし、SI 11.1 に定められているとおりに破損信号が掲げられた場合を除く。
- 11.4 RRS 62.1(b)が適用されている場合を除き、修理ができないことまたは注意信号後の破損は、救済の理由とはならない。この項は RRS 62 を変更している。

12. 風上マークの位置の変更

- 12.1 コースの変更は、新たに置き換えマーク W を設置することにより行う。置き換えるマークの色と形状は、最初の艇長会議時に示される。
- 12.2 引き続き行う変更は、元のマークへ戻す。
- 12.3 コース変更の信号(RRS 33 とレース信号の変更)
 - (a) C 旗とともに掲揚される赤色または緑色旗は、「新たなマーク W を、色付の旗で示される方向に置き換えた」ことを意味する。スタートラインから見て、赤色の旗は最初のマークよりもポート側に、緑色の旗はスターボード側に新たなマークが設けられたことを示す。
 - (b) スタート後のコース変更を特定のマッチにのみ適用する場合、当該マッチの数字旗を同時に掲揚することにより指示するものとする。
- 12.4 信号船
 - (a) 最初のレグでコースの変更を行う場合、信号は適用されるそれぞれのマッチの準備信号とともに RC ボート上で掲揚される。この場合、準備信号は一連の反復音響信号を伴うものとする。この信号はスタート信号とともに降下する。
 - (b) 最初のレグの後にコース変更の信号を発する場合、レース艇が最初に回航するマーク L に近づいたときに、マークボートもしくは RC ボート上で掲揚する(反復音響信号を伴う)。この信号はマッチの両艇がマーク L を回航後適当な時期に降下される。

13. タイム・リミット

相手艇がコースを完了しフィニッシュした後、5 分以内にフィニッシュしない艇は DNF と記録される。この項は RRS 35 および A5 を変更している。

14. メディア、肖像、音響

OA は、メディアの取材に選手が応じるように要請することができる。また、OA は大会期間中に採集された肖像と音響を無料で使用する権利を有するものとする。

15. 賞

(a) 1 位から 3 位のチームには JYMA 賞が贈呈される。

(b) 1 位のチームには二宮杯が贈られる。

OA は競技者の不品行、あるいは公式行事への出席を含むリーズナブルな要求に応じることへの拒否に対して、賞を減じることがある。

16. 責任分担

16.1 以下のアイテムの紛失、損傷は理由のいかんに関わらず当該艇の責任とし、その損失を OA に支払わなければならない。

(a) ウインチハンドル: 13,000 円/1 本

(b) 抗議旗 (Y 旗): 5,000 円/1 本

(c) 識別旗、B 旗、損傷旗: 各 3,000 円/1 枚

16.2 今回使用されるレース艇が加入している艇体保険の免責額は 100,000 円である。

16.3 帆走指示書アペンディックス C (ハンドリング・オブ・ボーツ) に違反した結果生じたダメージは艇体保険適用の対象とはならない。

16.4 レース中であるとなにかかわらず、艇の引渡しを受けてから返却するまでの間に、接触事故によって生じた艇体、セール、艀装その他備品のダメージ修理費用のうち、艇体保険でカバーされない分の負担は当該スキッパーが負うものとし、その負担割合は原則として当事者間の協議によるものとする。ただし、両当事者からの要請があった場合、RC は PC のアドバイスを含めた勧告をすることができる。

16.5 16.4 に該当するダメージが生じた場合、各スキッパーは帰着後 30 分以内にコンディション・レポートの他に別書式のダメージ・レポートを RC に提出し、口頭でその概要を報告する義務がある。

16.6 大会の進行を妨げるような重大なダメージを引き起こしたスキッパーに対して、RC はダメージの修理が完了するまでの間、そのスキッパーの成績を不戦敗とする場合がある。

17. 行動基準

(a) 競技者は、公式行事への出席や大会スポンサーおよび RC への協力を含む、RC からのリーズナブルな要求に従わなければならない、また大会の名誉を傷つけるような行動をしてはならない。

(b) 競技者は、艇と装備を通常の注意とシーマンシップによって取り扱い、SI アペンディックス C と D に従わなければならない。

(c) OA は海上において救命胴衣の着用を強く推奨するが、RC が特に命じるとき以外は、救命胴衣を着用するか否かの最終判断は各艇によるものとする。

(d) この SI に対する違反のペナルティは、PC の裁量であり、それには大会へのこれ以上の参加からの排除を含めることができる。

18. 否認

大会に参加するすべての者は、自己の責任で参加している。OA、その提携者および OA より任命を受けた者は、原因が何であれ、損害、損傷、負傷または被った不都合に対する一切の責任を否認する。

Ver1.0(2007/10/1)



SI アペンディックス A

参加資格スキッパー

	スキッパー	チーム名	JYMA ランキング 07年9月1日
1	長堀裕樹		3
2	戸谷壽男		5
3	三浦博志		7
4	庄崎賀絵		17
5	星野ひろみ		19
6	星野啓示		21
7	和田大地		23
8	白山陽一		35
9	玉山稔章		—
10	本吉夏樹		6

SI アペンディックス B

イベント・フォーマットおよびペアリング・リストは最初の艇長会議時に発表される。

注意: SI 1.2 で示された 1/2 点ペナルティは、ラウンド・ロビンでは違反者の減点、ノックアウトでは相手方への加点として扱う。

レース・スケジュール

10月19日(金) 準備

- 12:00 レース本部オープン
- 12:00~14:00 準備ミーティング、受付、体重測定
- 14:00~16:00 レース艇の準備。時間があればプラクティス
- 16:00~17:00 艇最終チェック
- 17:00 レース本部クローズ

10月20日(土)レース 一日目

- 09:00 レース本部オープン
- 09:00~09:45 受付、体重測定
- 09:45~10:15 艇長会議
- 10:30 レース艇ドックアウト
- 11:00 第1 マッチ注意信号
- 17:00~18:00 アンパイアブリーフィング/艇長会議(翌日分)
- 18:00~20:00 レセプション

10月21日(日)レース 二日目

- 07:30 レース本部オープン
- 08:00 レース艇ドックアウト
- 09:00 引き続き行われる予定のマッチの注意信号
- 16:00~16:30 アンパイア・ブリーフィング
- 16:30~17:00 表彰式
- 17:00 レース本部クローズ



SI アペンディックス C

ハンドリング・ボーツ(艇の取り扱い)

1. ゼネラル(全般)

ボートをイコライズ(対等に)するために RC/競技艇委員会によってなされる処置は、適切な過程を経ている限り、その結果は救済の理由とはならない。また、SI 11 によって要求された修理を RC/競技艇委員会が行った場合も同様とする。(RRS 62 の変更)

2. 禁止されるアイテムと行為

- 2.1 緊急時または損傷や負傷を予防するため、またはアンパイアが指示した場合を除き、以下の項目は禁止される。
 - 2.1.1 支給された艇体、艀装、備品に何かを付け加えたり、取り除いたり、変更すること。ただし、使用後に簡単に取り外すことができ、跡を残さないようにして粘着テープ等で取り付けられたテルテール、および防護用のテーピングを除く。
 - 2.1.2 あらゆる艀装、備品を、それが当初目的とした用途以外で使用すること。
 - 2.1.3 RC の許可なしに装備を交換すること。
 - 2.1.4 重大な損傷を引き起こす恐れのあることが明らかであるようなセーリング方法をとること。
 - 2.1.5 それ自体を使用している場合を除き、備品を通常の、あるいは指定された搭載位置から移動すること。
 - 2.1.6 前もって RC の許可を得ずにボートに乗り込むこと。
 - 2.1.7 RC の許可なしに、またレース日においては AP 旗が陸上で掲揚されている間に、バースから艇を受け取ること。
 - 2.1.8 RC の許可なしに艇を上架したり、ウォーターライン以下のハルを清掃すること。
 - 2.1.9 大会期間中に艇の周囲に潜ること。
 - 2.1.10 スピネーカーの帆布にラインを取り付けること。
 - 2.1.11 たとえテルテールを取り付けるためであっても、セールに穴を開けること。
 - 2.1.12 RC が要請した場合、緊急を要する場合、損傷の報告をする場合を除き、無線交信機(携帯電話を含む)を使用すること。
 - 2.1.13 バックスティを除き、スタンディング・リギンのタンバックルを調整したり、テンションを変えたりすること。
 - 2.1.14 メインシート、バックスティ、ヴァングの調整にウインチを使用すること。
 - 2.1.15 メインシートトラベラーを使用すること。(競技艇委員会にてロープで固定する)
 - 2.1.16 削除
 - 2.1.17 ジブシートのウインチングにドッグハウス上のハリヤード・ウインチを使用すること。
 - 2.1.18 ジブシートを、風下側ウインチを使わず、風上側ウインチに直接リードすること。
 - 2.1.19 ジブシートを 1 本しか使用せず、エンドレスでシーティングすること。
 - 2.1.20 ヘッドセールのシート、ガイなどをウインチにシーティングする前に、設置されたヘッドセール・カーやターニング・ブロックを通さなかったり、それらを取り外すこと。
 - 2.1.21 メインシートのテークル数を変更してセッティングすること。
 - 2.1.22 スタート信号後、クローズホールドで帆走中、メインシート、ブームヴァング以外の方法でメインブームをコントロールすること。
 - 2.1.23 コンパス、時計、タイマー以外の電子機器を使用すること。
 - 2.1.24 ハルおよびデッキ上に、直接パーマネントインクでマーキングすること。
 - 2.1.25 レース中にエンジンをブラケットに取り付けたままにすること。
 - 2.1.26 スピンポールのインボードアイが 2 個付いている艇は、その上部のアイの使用をすること。(上部のアイの使用は禁止、下部のアイを使用しなければならない)
 - 2.1.27 バウハッチを使用すること。
 - 2.1.28 タッキング、ジャイビングまたはバウダウン時の艇の動きを促進させるために、シュラウド(すべてのインナー・シュラウドも含む)のロワー・ボトル・スクリュウ(タンバックル)より上部をつかむこと。
- 2.2 SI C2.1.22 および 2.1.28 の違反は、艇による抗議の対象とはならないが、RRS C8.2 に従ってアンパイアによる処置に属する。(この項は RRS C6.2 と C8.2 を変更している。)

3. 許されるアイテムと行為

以下の項目は許される。

- 3.1 以下の項目のものを搭載し、使用すること。ただし、2 項に抵触する使用方法で用いないこと。
 - (a) ベーシックなハンド・ツール
 - (b) セール・リペア・キット
 - (c) 粘着テープ



- (d) 弾性のあるものその他を問わず 4mm 径以下のライン。
- (e) マーキング・ペン
- (f) テルテール用の素材
- (g) 時計、タイマー、ハンドヘルド・コンパス
- (h) シャックル、クレビス・ピン、リング・ピン
- (i) ベルクロ・テープ
- (j) ボースン・チェア
- (k) 最大 2 本までの予備の 8 インチ・ウインチハンドル。
- (l) 最大 2 枚までの予備の抗議旗(Y 旗、B 旗)、識別旗、損傷旗。
- (m) 予備のブロック
- (n) 船底に引っかかった藻やごみを取るための道具。この道具は 4m 以内のロッド、あるいはそのロッドに 4m 以内のロープを組み合わせたものに限る。この道具はその目的以外に使用してはならない

- 3.2 いかなる方法でも変形しないこと、そしていかなる荷重によってもダメージを引き起こさないことを条件に、ハイキングを助けるために以下のアイテムを用いることは許される。
- (a) ワーキングシート。
 - (b) スタンディング・リギンのロワー・ボルト・スクリュー(タンバックル)以下の部分
 - (c) 固定された装備。

4. 義務であるアイテム(品目)と行為 以下の項目は義務である。

- 4.1 レース中は船外機をエンジンブラケットからはずし、ブリーフィングで指定された方法でキャビン内に固定すること。
- 4.2 毎レース日終了後、各スキッパーはその日に搭乗したすべての艇に関するコンディション・レポートに必要事項を記入し、帰着後速やかに RC に提出しなければならない。一度もレース艇に搭乗しなかった場合もコンディション・レポートに「搭乗なし」と記載して提出しなければならない。
他艇との接触によるダメージがあった場合は、コンディション・レポートの他に、SI 16 項の要請によるダメージ・レポートを提出すること。
- 4.3 大会第 1 レース日のレース終了後:
- (a) セールはバッグに収納し、搭乗艇の艇内に収納すること。
 - (b) レース用のフラッグ(支給された Y 旗、識別旗、B 旗、損傷旗)は、そのまま艇に搭載しておくこと。
 - (c) デッキ、艇内を清掃し、私物、ゴミを持ち出し、各自が取り付けたテルテール、粘着テープ等はずし、その日最初に艇を受け取ったときと同等に艇をきれいにする。
 - (d) バックスティのテンションを緩めること。
 - (e) アペンディックス D に記載された備品をチェックし、問題があれば RC に報告すること。
- 4.4 大会最終日のレース終了後:
- (a) レース艇を上架し、所定の位置に移動すること。
 - (b) デッキ、艇内を清掃し、私物、ゴミを持ち出し、艇全体を水洗いすること。各自が取り付けたテルテール、粘着テープ等はずし、その日最初に艇を受け取ったときと同等に艇をきれいにする。
 - (c) (スポンサーロゴを使用している場合)メインセールからスポンサーロゴをはずして RC へ返却すること。
 - (d) 支給されたセールは RC の指示により返却すること。
 - (e) レース用のフラッグ(支給された Y 旗、識別旗、B 旗、損傷旗)は水洗いして乾かした後、RC へ返却すること。
 - (f) バックスティのテンションを緩めること。
 - (g) アペンディックス D に記載された備品をチェックし、問題があれば RC に報告すること。
- 4.5 いかなる方法でも、艇の装備の変更要請を行うときは、書面で、かつ yes/no で回答できるような表現でなければならない。
- 4.6 ハーバーとレース海面への往復時は、制限速度と航海標識を含む法令・規制に従うこと。
- 4.7 4.3 と 4.4 の違反は、損傷とみなされ、調整の費用は各チームに請求されることがある。

アペディックスD

ボートドロー後に配布される、「J/24 の備品およびチェックリスト」に応じて、ボートの管理を行うこと。

Ver1.0(2007/10/1)

